



第1図 ミナミキイロアザミウマ雌成虫に対する各種薬剤の殺虫効果
(志布志市, 2006年10月30日採集)

第1表 ミナミキイロアザミウマ雌成虫に対する各種薬剤の殺虫効果
(志布志市, 2006年10月30日採集)

系統分類	供試薬剤	希釈倍数	供試虫数 (頭)	死亡率(%)		
				24時間後	48時間後	72時間後
有機リン剤	DDVP乳剤50	1,000	30	0	0	0
	スプラサイド水和剤	1,000	31	12.9	25.8	25.8
有機リン+ カーバメイト剤	マラバッサ乳剤	1,500	29	48.3	51.7	51.7
合成ピレスロイド 剤	アーデント水和剤	1,000	30	0	0	3.3
	アディオン乳剤	2,000	28	0	14.3	14.3
ネオニコチノイド剤	アクタラ顆粒水溶剤	3,000	31	16.1	19.4	22.6
	アドマイヤー顆粒水和剤	10,000	31	22.6	32.3	35.5
	アルバリン/スタークル 顆粒水和剤	2,000	31	45.2	54.8	71.0
	バリアード顆粒水和剤	4,000	31	32.3	35.5	38.7
	モスピラン水溶剤	4,000	30	30.0	33.3	33.3
	ベストガード水溶剤	1,000	33	54.5	75.8	78.8
	アフーム乳剤	2,000	30	83.3	83.3	96.7
その他新系統薬剤	コテツフロアブル	2,000	30	6.7	20.0	20.0
	スピノエース顆粒水和剤	5,000	31	87.1	90.3	93.5
	トルネードフロアブル	2,000	29	3.4	3.4	24.1
	チェス水和剤	3,000	26	0	0	0
	プレオフロアブル	1,000	26	0	3.8	7.7
	無処理	-	30	0	0	0